

令和元年度秋田県スキー連盟競技本部マスターズ委員会会議録

日時 令和元年 6月 8日 13:00～14:00

場所 秋田県立総合プール会議室

出席者 阿部健 菅原梯祐 下総慎一郎 東海林高志 中嶋誠 齊藤匡彦 田村次雄
浅石敦幸 永井豊美 佐々木功基

冒頭、阿部マスターズ協会会長より、選手に好評だったコーチ派遣事業のお礼があった。協会と委員会の関わり方については、今後益々強化を図り、マスターズスキー振興発展につなげたい旨のご挨拶をいただいた。

協議案件要旨

1 平成31年度活動報告及び収支報告について

○活動報告は、佐藤コーチ提出の行事報告書に基づいて田村委員長が説明した。

- ・たざわ湖合宿、全日本マスターズ大会のコーチング内容と無事終了の報告をした。協会、選手側からコーチの献身的な活動のおかげで有意義だった本事業への感謝と継続の要望があったことを説明した。

○収支報告は、佐々木担当理事が配布資料に基づいて説明した。

- ・マスターズ協会、たざわ湖スキー場の御厚意もあり、予算内で活動できた。
- ・コーチ謝礼金10,000円支給の了承を確認をした。

2 活動計画案について

- ・田村氏 予算については、県スキー連盟決算後の立案となるが、出席者のご意見やご提案も参考にしながら皆さんと活動計画案を協議していきたい。
- ・阿部氏 他県関係者にも注目されている事業なので、マスターズスキー活性化のためにも確実な予算確保をお願いしたい。
- ・下総氏 選手として練習や競技に集中でき大変助かった。可能な限り継続してほしい。
- ・田村氏 このような要望が多いので、アルペンについては来シーズンもコーチ派遣事業の計画を進める。クロスカントリーについては、選手の意向を確認しながら2021たざわ湖大会を見据えた大会視察を兼ねてのコーチ派遣等の必要性についてご意見を伺いたい。
- ・佐々木氏 委員会としては、選手数、要望の有無にこだわりがちだが、アルペンにもクロカンにも対等の立場で対応するのが望ましいと思う。
- ・中嶋氏 たざわ湖合宿では、2日間で40人の選手をコーチ1人で対応したが、大丈夫か？
- ・田村氏 委員会は、協会主催合宿をサポートする立場なので、今後も現状どおりに考えている。1人コーチは大変だが、謝礼等で対応してもいいのではないか。

3 その他

- ・中嶋氏 東北マスターズ大会（阿仁）が他県の大会と重なったので、東北マスターズ実行委員会会議で調整してほしい。
- ・浅石氏 県体マスターズ大会に、より多くの選手が参加するよう協会側も働きかけてほしい。また、来シーズンは、小中学生の県体スキー参加が決定した。トップ選手の迫力はジュニアの刺激にもなるだろう。大会全体の盛り上がりを目指したい。

閉会

（作成者 マスターズ委員会 委員長 田村次雄）